

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 3 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503080		
法人名	社会福祉法人 常新会		
事業所名	GH 喜望 よろこび ・ のぞみ		
所在地	福山市御幸町下岩成646-1 (電話) 084-970-0231		
自己評価作成日	令和6年2月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471503080-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年2月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

毎身体操や誤嚥防止の口腔体操を行いADLの維持に努めているが、入居者の年齢層も高くなり動く事が可能な方が少なくなっている。
季節を感じられる壁紙作りや、座った状態で出来る体操やゲーム、折紙切りなど入居者の方に参加して頂きアクティビティを考え取り組んでいる。
また、入居者個人に適した家事活動、食事にも楽しさがでるようバイキングにしたり鉄板でタコ焼きパーティーをしたり、イベントや行事ごとを喜んで頂けるよう努めている。
新型コロナウイルスの為、控えていた外出や家族会を再開し、日々の暮らしを充実してもらえよう入居者との対話を通してやりたいことや望みを聞いてそれに沿えるように動き、グループホームでの暮らしが華やかになるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍より前に戻るように、職員付き添いによる買い物などの外出や3カ月毎の家族会を再開し、利用者と家族との触れ合いを深める取り組みをしている。アクティビティに力を入れ、毎日の体操、1日2回の口腔体操、手作り作品づくりをしている。毎日の手作り食、バイキング、たこ焼きパーティーなどの行事食で食の充実を図っている。協力医との連携により、夜間の連絡体制、緊急時の対応や平日毎日の訪問診療を行う事で、利用者の健康管理に努めている。職員の大半は看取りの経験もあり、希望があれば看取りをする方針である。面会は、利用者と家族との大切な時間ととらえ、居室にて対面面会をしている。職員同士が話しやすい雰囲気をつくり、日々の申し送りや毎月のミーティングなどで話し合いを重ねることで業務改善、日々のケアの見直し、利用者の想いを実現している。

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を元に、各部署で長期、短期（運営、介護方針）を作成している。入居者や家族の思いは、面会や家族会等で傾聴し実践につなげている。	開設当初の理念を掲げて、職員の見える場所に掲示する事で意識している。毎年、振り返りを行い、年度初めにチーム目標、年間目標を掲げて取り組んでいる。支援に迷いが生じた場合は、毎月のミーティング、必要時に確認、職員間で共有しながら日々支援に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナが5類になり、町内会の行事に少しずつ参加できるようになっている。（町内掃除、子供神輿や花笠、展示会）まだ事業所の祭りは行えていない。	町内会加入により、地域情報を得ている。恒例行事でもある子供神輿が事業所駐車場前まで訪れ利用者と交流がある。年2回の町内清掃へ参加したり、小学校の文化祭に事業所で作成した作品を展示している。コロナ禍で中止していた事業所祭りを次年度に再開する準備を進めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍だった為、職場体験や実習の受け入れを行っていない。また地域の方々に向けての関わりが少しずつ再開している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナが5類になり、運営推進会議を再開し2ヶ月ごとに行っている。地域カフェも再開し参加している。	当会議は書面にて行っていたが、今年度、令和5年5月以降は対面会議を再開している。大学の認知症カフェに参加し、情報交流をしている。参加者からの提案で、小学校の文化祭に利用者の作品を展示した経緯がある。参加者から地域情報、意見を得られ、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所で事故があった時の報告、事業所で困難事例があった時など情報を得ている。	市との連携は、所長が主にやり取りを行い、その情報については、事業所に周知している。事故報告書の提出、生活保護担当者が状況確認で事業所へ来訪し、相談することもある。地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加している。地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎年6月と12月に勉強会を行ったり、各部署のミーティングで話をし、職員共有を行っている。 身体拘束委員で3ヶ月毎に委員会を開き、年に1～2回主任会議で報告を行っている。	年2回の研修やビデオ視聴を含めた朝の勉強会をしている。年1回のスピーチロック(言葉による拘束)を含めたアンケートの実施、3カ月毎の身体拘束防止・虐待防止委員会を開催し、具体的な行為をしていないか点検をしている。日々のケアで気になる点があれば、その都度注意喚起している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	研修できる時、社外研修を行っている。リモートを活用した研修も行っている。事業所内の勉強会や動画を見ながら学び、虐待防止に対して、職員間で共通意識を持つよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	支援や成年後見人制度について、勉強会等を行い学ぶ機会を設けている。現在、入居者1人が成年後見人制度を利用しており、後見人の方と連絡を取り合っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は書類に添って説明し、改定があった時も、その都度説明し納得頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情処理箱を設置し、管理者と職員間で共有し対策を講じている。 直接ご意見を下さる家族に対して、その都度話し合い、対応している。	毎月の通信便りを家族へ送付し、身近な出来事を知らせている。面会は感染状況に応じて柔軟に対応し、居室面会をしている。3ヶ月毎の家族会の開催、面会時や電話連絡などで家族の生の声を聴くように努めている。意見や要望には、出来る限りの対応を行い取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各部署のミーティング等が出た意見、提案は主任会議の中で検討している。</p>	<p>職員個人の年間目標を掲げ、毎年個人面談を実施し、働きやすい職場環境、職員個々の条件に応じた勤務体制を整えている。忘年会を再開して職員間の親睦を深める取り組みをしている。福利厚生の実現を図る目的で、今年度(令和5年度)は、昨今の物価高騰を踏まえ、物価高騰手当の実現をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年職員の面談を行い、業務に対する考え方、目標等を把握し働きやすい職場環境作りや条件の設備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内での研修、能力開発プログラムを通して、実技兼、知識をつけてもらえるよう実施している。 法人外の講習会等への参加も情報を提供し促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修に参加し同業者と交流を図ったり、他施設のリハビリスタッフに訪問して頂き、意見を聞いたり他施設の勉強会を通じて意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取組みを行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始前に訪問し不安や要望等を聞き解決できるよう行っている。 また、ライフメイトという言葉通り、一緒に生活動作を築きながら信頼し合えるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前より御家族と連絡を取り困っている事、不安な事を伺いサービスの内容を丁寧に説明し、安心して頂けるよう関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>サービスの導入時は、事前面談より得た思いや情報、多方面からも情報や意見を収集し、チームで検討している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の個性を尊重しながら日々の生活をする中で、頼り頼られながら信頼し合える家族のような関係を築けるよう、生活動作や家事動作、楽しみ事を一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>御家族には、月に1度行事や普段の様子を載せた通信を送ったり、面会や2ヶ月に1度家族会を開催して、本人との交流の機会を大切にできるよう支援している。また、変化のあった時には連絡し相談しながら共に本人を支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>思い出の写真や馴染みのある歌や趣味の作品を通して会話をしたり、行事ごとを大切に、家族との交流を促して、様々な関係が途切れないよう行っている。</p>	<p>家族などとの関係性が途切れないように電話のやり取り、年賀状など手紙の受け取りをしている。家族の承諾を受け、職員同行の外出支援をしている。友人や知人の面会もみられ、以前からの関係継続に配慮している。以前利用していた同敷地内のデイサービス利用者との関わりがある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者全員で同じ体操を行ったり、職員が間に入りアクトや会話の場を設けている。 入居者同士で声をかけ、家事など助け合われている事も良く見られる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>家族の方から情報を頂き、それを職員で共有している。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>部屋担当を中心に本人の思いを聞いた り、普段の会話、行動を記録している。 それを元に職員、家族、主治医等と相談し意向を検討している。</p>	<p>職員の担当制により個々のニーズを把握している。利用者との日頃の関りから、普段の会話や行動など些細な事柄を共有している。意思表示が難しい方は、医師の情報、これまでの暮らしぶりを家族から情報を聴き取り、本人主体で考えている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>家族の方から話や本人との普段の会話から本人の生活歴などを把握し職員で共有している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>日々の様子を観察、記録して主治医の意見を聞きながら職員で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月のミーティング時に、カンファレンスを行い、3ヶ月毎に介護計画の見直しを行い、家族とも相談している。また、状態が変化した時は、その都度ミーティングを行い計画の変更をしている。</p>	<p>独自のアセスメントシートを活用している。担当職員がアセスメントを実施し、計画案を作成している。アセスメントの結果は、カンファレンスで適切な介護計画に活かし、3ヶ月毎のモニタリングで介護計画の見直しをしている。利用者の身体機能が維持・低下しないように活動を取り入れた内容としている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や気付き、対応や反応など、24時間個別記録に記入し、担当が評価したものをチームで共有、話し合いを行い、介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>日々の様子や体調など気になる事を往診の主治医に相談し、助言により他病院などの受診もしている。また、同法人のリハビリ部門より生活リハビリへの相談助言をもらっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナが5類になり、地域、町内会の行事に少しずつ参加できるようになっている。(町内掃除、子供神輿や花笠、展示会)まだ事業所の祭りは行っていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族と主治医に連絡を取り説明、報告を行っている。急変時は、主治医、家族に連絡している。主治医に指示を仰ぎ、必要な時は主治医から家族に直接話をもらっている。</p>	<p>利用開始時に希望を聴いているが、月2回の訪問診療や24時間の連絡体制を整えていることもあり、利用者全員が事業所の協力医を選択している。他の専門医の受診は家族の協力のもと支援を行っている。平日毎日の訪問診療により、相談や困り事があれば、医師からアドバイスを受ける体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	主治医や看護師に、その都度、入居者の様子を伝え、適切な対応、指示を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供書を発行し、又、入院中の状態の確認に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族のご希望を伺い、家族が納得のいく最後を迎えられるよう医師や職員から、しっかりと説明を行うよう努めている。	職員の大半は看取りの経験もあり、希望があれば看取りをする方針である。利用時に『看取り介護についての同意書』を説明している。状態変化に応じて、その都度、家族や医療関係者と相談し、方針を決めている。医療ニーズが高い方など事業所で対応が難しい場合は病院又は特別養護老人ホームでの対応としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員全員で、日中、夜間それぞれの急変時対応マニュアルを共有している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回、消防訓練、災害訓練を行っている。また、勉強会も行い、水や食料のストックを置いている。	ハザードマップ上は水害を受けやすい地域のため、必要時は特別養護老人ホームを避難場所としている。水、食料など備蓄に関しては、2～3日分を2階に準備している。年2回の訓練、年2回の勉強会を行い、防災意識を高める取り組みをしている。BCP（事業継続計画）を策定している。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
k					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人ひとりの思いを尊重し、プライバシーを損ねないように声かけや対応をしている。	新人研修、マナー研修を含め職員の意識を高めている。法人独自の共通用語マニュアルを作成している。個人ファイルなど記録物に関しても他者の目に触れないように書類棚に整理している。居室のドアをノックするなど、当たり前のマナーが出来るようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや希望にしっかりと耳を傾け、状況に合わせて支援できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりのペースに合わせ、本人の希望に添った支援ができるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人がお好きな服を身につけられるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	本人が出来る作業をしてもらい、食事作りや片付け等に参加してもらっている。	旬の食材を活用し、3食手作りの食事提供をしている。可能な方は利用者が下準備や片づけをしている。毎日の食事担当を決めてメニューを決めている。中庭で採れた野菜が食卓に並ぶ事もある。毎日の手作り食、バイキング、たこ焼きパーティーなどの行事食で食の充実を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>しっかりと摂取できるよう、食事形態など工夫して提供している。 毎日のメニューや摂取量を1人ひとり記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後、口腔ケア、舌磨きの声かけ、介助を行っている。 必要時、歯科往診を依頼している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合った下着を使用し、適宜、トイレの声かけ、誘導をして、トイレでの排泄、パット使用の減少に努めている。</p>	<p>トイレで排泄が出来るよう、座位が可能な方は、トイレに座る事を基本とした支援をしている。24時間のライフチャートで排泄パターンを把握し、定期的な声掛け、誘導にて排泄支援をしている。安全確認のため、トイレ入り口のドアに鈴をつけている。個々の状態に応じて居室内にポータブルトイレを設置している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>しっかりと水分を摂ってもらえるよう、個々の好みやタイミングに合わせて提供している。 午前、午後と1日2回、体操も行っている。 必要時は主治医に相談し下剤の服用も検討している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人の気分がのらない時は、タイミングをずらして、再度声かけをしたり、体調に合わせて進めている。 寝たきりの入居者は清拭、洗髪で対応している。</p>	<p>入浴前にはバイタル測定を実施し、週2～3回の入浴をしている。脱衣場はエアコンを設置し、温度管理に気を付けている。湯船に浸かる事が難しい方は、シャワー浴時に足浴を実施している。本人が好むシャンプー、石鹸など持ち込み可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>高齢な方が多いので昼食後、皆に1時間程度、居室に入って横になって休んでもらっている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>調剤ファイルを使用し、薬の内容、用法など職員で共有している。体調に変化があったりすると主治医に報告、指示を受けている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>活動ができる方同士に座席を組み、話が出来たり、一緒に家事活動をやったり、難しい方には職員が側で簡単な活動等一緒に行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出が行える入居者の方は、桜やバラなど観賞に行ったり、室内で季節ごとのイベント等を行っている。</p>	<p>気候が良ければ、周辺の散歩やゴミ収集日にゴミを捨てに出掛けている。希望があれば家族の承諾を得て、職員同行でのお墓参りや買い物に出掛けている。併設のデイサービスの車両を借りて、花見やバラ公園、紅葉狩りなどドライブに出掛けている。外出が難しい時は、室内でイベントなど行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金は預かり金庫にて保管している。道の駅などに外出した時など買い物したり、本人が希望する物がある時は職員が購入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(よろこび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望がある時は電話をかけ、話をされたい時は、面会に来てもらい居室で話をされている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>きれいな花や壁飾りなど一緒に作り壁のあちこちに飾っている。</p>	<p>ユニット入り口やリビング内は利用者と職員が共同作成した季節の飾りつけをしている。明るい日差しが差し込み、窓からは田園風景を見渡す事が出来る。衛生面にも気配りし、利用者の能力に応じて毎朝掃除をしている。利用者の状況に応じて、リビングのテーブルなどレイアウトを工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>気の合った入居者同士で思い思いの話が出来たり、YouTubeで好きなテレビをいつも見れるようにしている。 天気が良い日はベランダ側で日光浴をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人の分かるようにタンスに物の名を貼り、誕生日会の写真や家族の写真等を置いている。</p>	<p>利用時に使い慣れた品物、家族写真など自由に持ち込みが可能である。本人の状況、生活スタイルに応じて、本人が伝え歩きがし易いようにベッドの位置など居室レイアウトを工夫している。衣装ケースに名前を付け説明する事で、自身が衣類の管理が出来るようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の希望や能力を活かせる家事や活動、運動など行えるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(よろこび) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を基に、チーム目標を作成し、入居者や家族の思いを聞き入れて、実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	職員が年2回、町内の清掃活動に参加している。秋には、町内の子供神輿が来て、地域の方々と一緒にを過ごす事ができた。喜望で製作した作品を地域の小学校へ展示させていただいた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍の為、職場体験等の実習の受け入れを行っていない。また、地域の方々への関わりが行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の為、行えていなかったが、7月より再開している。町内会長や地域包括の方やご家族から、ご意見をいただき、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所で事故があった時の報告、困難事例があった時の相談、コロナの状況等の情報を得ている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎年6月と12月に、勉強会を行ったり、チームミーティングにて話し合いを行い、共有している。 年に4回、3か月ごとに身体拘束虐待防止委員会を開催し、年に1回主任会議で活動報告をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	社外研修は、コロナの状況により、出来る場合は参加している。 また、リモートを使った研修も取り入れている。 事業所内の勉強会で動画等を見ながら学び、職員間で共通意識を持つように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援や成年後見制度について、勉強会を行い、学ぶ機会を設けている。 現在、入居者1名が成年後見制度を利用しており、後見人の方と連絡を取り合っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は書類に添って説明を行い、改定があった時も、その都度説明し、納得頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱を設置し、管理者や職員間で共有し、対策を講じている。 直接、ご意見をくださる家族もあり、その都度、話し合い、対応している。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	チームミーティングで出た意見や提案は、実践したり、毎月の主任会議にて報告したり、検討もしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎年、職員の面談を行い、業務に関する考え方や個人目標等を把握し、働きやすい職場環境作りや条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業所内での研修や新人能力開発プログラムを通して、実技や知識をつけてもらうよう実施している。 事業所外の講習会への参加も情報提供し、促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修に参加し、同業者と交流を図ったり、平成大学の認知症カフェに参加し、情報交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者やその家族との会話を通して要望や不安なことを聞き、その都度、対応している。一緒に生活する上で、信頼関係を築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族からの要望や不安などを伺い、それに沿ったサービス内容をしっかりと説明して、安心して頂けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	サービス導入前には、事前に行う面接で得た要望や情報をチームで話し合い、多方面からも情報や意見を収集し、チームで検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の個性や思いを尊重しながら日々の生活する中で、お互いが支え合う関係を構築できるように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月一でグループホームでの暮らしや行事等の写真を載せた通信を送ったり、面会時は本人との交流の機会を大切に出来る様努めている。また、変化があった場合は、すぐに連絡し情報提供、相談して共に本人を支えていく関係を構築できるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会や外出を通して、グループホームで暮らしつつも入居者がこれまで通りの関係が途切れないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>家事活動や体操や脳トレや作品作り等のアクトや会話の場を設け、関わりを持つように努めている。</p> <p>入居者同士で助け合われている場面も見られる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>家族の方からの情報を聞いて、それを職員間で共有している。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>職員が本人の意見や思いを聞いて、それを職員間で共有し家族とも相談して、意向を検討している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>家族や本人との会話の中から情報を集めて、生活歴を把握するよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>毎日の様子を記録したり、主治医の意見を聞き、職員間で共有し、現状を把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>月1回のチームミーティングで、問題点や改善点を検討している。家族からの意見も反映しながら、介護計画は3か月毎に見直ししている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の日々の様子や気づき、対応や反応を24時間、個別で記録している。申し送りやミーティングにて、共有しながら介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要時には、同法人のリハビリ部門にグループホームで生活する上でのリハビリの助言をいただいている。また、往診の医師には医療的な事を相談したり、多方面にアドバイスを求め、よりよい支援を行えるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で、行事やイベント等ができていなかったが、秋に地域の子供神輿が来て、一緒に過ごす事ができました。喜望で制作した作品を地域の小学校に展示させて頂いた。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族と主治医、連絡を取り説明、報告を行い急変時には家族、主治医に連絡している。また、主治医に指示を仰ぎ必要時には主治医より家族に直接話をして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	主治医や看護師へ入居者の様子を報告し、適切な対応や指示を頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は情報提供し、情報交換に努めています。また、ご本人の状況、状態等を再々確認し、入院中や退院時には必要な事を詳しく聞くようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族の希望を伺い、医師、職員は家族が納得される最期を迎えられるよう努めている。 また、利用者の状態に応じて、その都度、今後の方針の確認を行い、医師や看護師との連携を図りチームで支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	日中、夜間それぞれの急変時マニュアルを作成し職員全員で共有している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	日中、夜間を想定した消防訓練や災害訓練を年2回行い、毎年5月と11月に勉強会を行い職員の防災意識や災害対策の理解が深められるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の思いを傾聴し、個々に合った声かけや言葉使いに配慮し、プライバシーを損ねないような対応を工夫している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望に耳を傾け、入居者の状況や状態に応じて、自己決定出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の希望を優先した生活を送ってもらえるように、個々に合ったペースで過ごして頂けるよう支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みや希望される衣類を身につけてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事メニューのリクエストを聞き、職員と一緒に食事作りを行い、食事を楽しむ支援に努めている。また皿洗い、皿拭き等の片付け等をして頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>毎日、食事メニュー、食事摂取量、水分 量を一人一人記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、歯磨きの声かけや確認を行い、 介助の必要な入居者は職員が口腔ケアを 行っている。 必要時は歯科往診の依頼を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合った下着（布パンツ、紙パン ツ、パット等）を使用し、適宜、トイレ 誘導して、トイレでの排泄、パット使用 量の減少に努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分をしっかり摂取して頂くよう個々の タイミングや飲みやすい物を提供してい る。 体操や散歩を行い、運動の機会を設けて いる。 また、青汁、牛乳やヨーグルトを提供 し、便秘の予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>浴室の温度に気を付け、気持ちよく入浴し て頂けるよう心掛けている。 気分が乗らない時には時間を変える等、 無理せず様子を見ながら支援している。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個々の体調や生活習慣に合わせて、 ご午睡の時間を取れるよう支援し ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている。	調剤ファイルを使用し、薬の内容、 用法等職員間で共用している。 体調に変化があれば、主治医に 報告し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	本人持てる能力を生かし、家事活 動や歌会や脳トレ、作品作りや カルタ等のアク、YouTubeを使 った体操等も行っている。 また、季節に合った行事や外出 等へ行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	個々の希望や体力に合わせ、散 歩に出かけている。季節に合っ た外出として、桜やバラ、紅葉 などドライブに行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	お金は預かり金庫で管理してい る。買い物をしたい時は職員が 一緒に購入している。		

自己評価	外部評価	項目(のぞみ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人が希望したり、家族から電話があった時は、話をしてもらっている。年賀状等も届いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>浴室はエアコンを入れたり、トイレの汚れがないか確認している。ホールや廊下からは外の景色が見え、季節の変化が分かるようにしている。季節や行事に合わせた作品作りを皆で製作し、飾っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>圧迫感なく、ゆっくり過ごしていただけるようにテーブルを配置している。廊下と窓際にソファを置き、自由に使ってもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた物や家族の写真、思い出深い物などを居室に置き、安心して過ごせるように心掛けている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の希望や能力が活かせるような家事活動やアクト、体操等が行えるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目(のぞみ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム喜望

作成日 令和6年4月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練を行なう際に、地域住民の方に来て頂き、一緒に訓練を行なう必要がある。	地域の方、入居者の方の参加はあったも、今は出来ていない。 今後は避難訓練を行なう際には、入居者の方、地域の方と共に実施していきたい。 また訓練に参加出来なかった職員と共有する。	地域の方と一緒に避難訓練を行なえるよう、また入居者の方にも参加して頂けるよう調整を試みる。 参加出来ない職員に対し、資料をみて頂いたり、ミーティングで報告し共有していく。	1年
2	35	飲食、物品の備蓄のストックや必要物品のリストを作成し、一目でわかるようにしておけば焦って行動する事はないのではないか。	水のストック、冷蔵庫の食材、お米の備蓄が2～3日分あり、卓上コンロを使用して、おかずやオニギリの調理が出来る。	飲食、物品の備蓄のストックや必要な物リストを、誰が見ても分かるように職員に報告し共有する。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。